

株式会社
デ・リーフデ北上

事例 03

再生可能エネルギーを活用した 持続可能な施設園芸の推進

調達

生産

流通

消費

取組概要

【目的】

暖房等で燃料や電気の消費が大きい施設園芸において、木質バイオマス等の再生可能エネルギーを活用することで、環境負荷と燃料コストの低減を両立した持続可能な生産の実現を図る。

【内容】

- 1 化石燃料の使用量削減を図るため、木質バイオマスボイラーを活用
- 2 電力使用の削減を図るため、地中熱式ヒートポンプを活用



木質バイオマスボイラー



地元の森林組合から
調達した木質チップ



ヒートポンプ

取組の成果

- 1 木質燃料の燃焼に応じた熱量計算を行いながら燃焼を管理することで、経費を抑えながら温室効果ガスの排出を削減している。
- 2 ヒートポンプの活用により、電力使用を削減しながら、ハウス内温度の適正管理を実現している。



総務部部長
阿部 淳一 氏



トマト（1.1ha）、パプリカ（1.3ha）
で活用（写真はトマト）



直売所も併設し、
地産地消の推進に注力している

